

デマンド交通始まる

真庭市湯原地域の二川地区で、乗用車を使ったデマンド（予約型乗り合い）交通事業がスタートした。車を運転できないお年寄りらの移動の利便性を高めるため、住民有志でつくる二川ふれあい地域づくり委員会が市の委託を受け運営する。（中村啄也）

通常は5人乗りの乗用車を使用。予備として10人乗りも用意して

病院や
振興局

湯原中心部と結ぶ

院、商業施設など主要13施設と結ぶ。月、水、金の午前8時半〜午後4時に運行。片道200円。利用希望日の前日（平日のみ）までに、同委員会に電話で予約する。

二川地区ではこれまで、市のコミュニティバス「まにわくん」が2路線で運行されていた。しかし、路線が限定され

ていた上、定時運行だったため、昨年以降、市と住民が協議し、5月末で1路線を廃止し代わりにデマンド交通を導入することを決めた。燃料代や人件費などの事業費は市が全額負担する。



出発式でテープカットをする遠藤会長（右から2人目）ら

1日、湯原健康増進センター（粟谷）で行われた出発式には、住民や市職員ら約50人が出席。二川ふれあい地域づくり委員会の遠藤正明会長（80）は「移動が便利になることで住民間の交流が活発になり、より元氣な地域になれば」と話した。

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。